

ISO 規格発行の概要

ISO 1206:2018, Rolling bearings – Needle roller bearings with machined rings – Boundary dimensions, geometrical product specifications(GPS) and tolerance values

(転がり軸受－ソリッド形針状ころ軸受－主要寸法，製品の幾何特性仕様(GPS)
及び公差値)

2018年2月付にて、ISO 1206(Rolling bearings – Needle roller bearings with machined rings – Boundary dimensions, geometrical product specifications(GPS) and tolerance values)第4版が発行されましたので、その概要を紹介します。

1. 経緯

本規格は1976年に初版が発行され、1982年7月に第2版が、2001年11月に第3版が発行され、2013年8月に追補1が発行されました。2013年の5月の上海会議にて、追補1の内容及び追加寸法を含め、製品の幾何特性仕様(GPS)を採用しての改正を行うことが決議され、今回の第4版の発行に至っています。

対応するJIS規格はJIS B 1536-1(転がり軸受－針状ころ軸受の主要寸法及び公差－第1部：寸法系列48, 49及び69)になります。

2. 主な改正内容

- 規格名称
“Rolling bearings – Needle roller bearings, dimension series 48, 49 and 69 – Boundary dimensions and tolerances”から“Rolling bearings – Needle roller bearings with machined rings – Boundary dimensions, geometrical product specifications (GPS) and tolerance values”に変更しました。
- 記号(簡条4)
図と記号については、GPSを適用した表記に変更しました。
- 主要寸法及び面取寸法(簡条5)
寸法系列59(表4)と特殊寸法系列(表6及び表7)を追加しました。
特殊寸法系列の表は、各国で実績のあるソリッド形針状ころ軸受の調査を行い追加したものであり、日本で製造実績のある9点も表7に含まれています。
寸法系列48及び49について大きい側に寸法範囲を拡大しました。
(寸法系列48： $d=380$ ，寸法系列49： $150 \leq d \leq 440$)
- 許容差及び許容値(簡条6)
上記寸法範囲の拡大に伴い、許容差及び許容値を記載した表の寸法範囲を拡大し
(内輪： $150 \leq d \leq 440$ ，外輪； $500 \leq D \leq 630$)，ころコンプリメントの内接円径を記載した表の寸法範囲を拡大しました($400 \leq Fw \leq 500$)。
- 附属書A(参考)
軸軌道とハウジング内面に関する参考値を追加しました。
- 附属書B(参考)

転がり軸受の公差に関する旧規格の量記号及び用語と、GPS 概念に基づく説明との比較を、参考として示しました。

以上